

あなたの声を市政に

一般質問

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などに方針を問うものです。

- 制限時間 質問のみ 30 分以内 (答弁は別)
- 質問方法 ☆ 一括方式
 ・最初に全部の質問をし、まとめて回答を得る
 ・同一議題に対しての質問は 3 回まで
- ☆ 一問一答
 一問ごとに質問・回答を繰り返す

【令和2年12月定例会】 一般質問一覧		
村西 作雄 議員 【一問一答】	① すぐできる高齢者外出支援サービスの実現を ② コロナ禍における町施策の執行状況と財源並びに新年度対策について ③ 国道 307 号にかかる歩道整備促進について	13P
徳田 文治 議員 【一括方式】	① コロナ禍における学びの保障について	13P
澤田 源宏 議員 【一括方式】	① 町の財政難について	14P
森野 隆 議員 【一問一答】	① 住民と行政との距離感 ② 当町の教育大綱・教育振興基本計画について	15P
西澤 桂一 議員 【一問一答】	① 行政機能の配置の適正化に向けた具体の方針について	16P
村田 定 議員 【一問一答】	① 近江鉄道愛知川駅前景観整備について ② 愛荘町のウォークアブルタウン創造事業について ③ 2021 年度から 3 年間の財政状況について	17P
瀧 すみ江 議員 【一問一答】	① 新型コロナウイルス感染症について ② 「役場庁舎等リニューアル工事」について ③ 介護予防・日常生活支援総合事業について	18P
外川 善正 議員 【一問一答】	① 行政機能の配置の最適化に向けた具体の方針 (案) の策定に関わる今日までの施設計画など一連の各種計画における疑問点について	19P
辰己 保 議員 【一問一答】	① 滋賀県立高等学校あり方検討委員会と愛知高等学校について ② 有村町長の時代考証と政治姿勢について	20P
竹中 秀夫 議員 【一問一答】	① 今後の愛荘町を見据えて	21P

議会だよりでは、スペースの関係で質問と答弁を要約してあります。

教育民生常任委員会活動報告

事業進捗状況を調査

令和2年度も早9ヶ月が過ぎ、年度末に向けて各事業の完了をめざす時期にきている。そこで各課の事業進捗状況を調査した。

○民生部門

12月14日(月) 開催



教育民生常任委員会

- ・子ども支援課
- ・つくし保育園
- ・健康推進課
- ・子育て世代包括支援センター
- ・福祉課
- ・福祉課 (地域包括支援センター)
- ・住民課

子ども支援課では、ひとり親家庭対策の現状について、貧困の連鎖を断ち切ることが必要との答弁があった。

つくし保育園では、給食の誤提供について、一定期間経過後の誤提供であることから、徹底した改善・管理を求めた。

健康推進課では、施策の効果・評価についての質疑があり、総合計画や健康あいしよ21の目標数値での評価をしていくとの回答があった。

福祉課では、介護保険運営協議会で意見があった巡回バス導入については、今後の動向を総合的に判断していくとし、さらに老人クラブの現状の課題・今後のあり方については、両クラブの統合は難しい状況であるが、課題解決に向け、協議を進めていくとの答弁があった。

住民課では、国民健康保険高額療養費申請時の領収書添付不要について、令和3年4月からの県統一での実施に向

○教育部門

12月15日(火) 開催

け、検討中との報告があった。

- ・教育振興課 (幼・小・中)
- ・給食センター
- ・生涯学習課
- ・図書館
- ・歴史文化博物館

教育振興課では、GIGAスクール構想において、先生への研修実施、マニュアル等整備に努めるよう求めた。

学校図書館での図書の内容・購入、年間の貸し出しについての質疑があり、前年度と比較すると図書指導員設置による効果もあり、貸し出し冊数が増加している。

中学生のヘルメット着用についての質疑があり、生徒の自主性と関係機関の方々の協力を得ながら、より良い方向に進むよう、取り組みとの回答があった。

給食センターでは、アレル

町内幼稚園 小中学校訪問

11月18日(水) 愛知川地域
11月25日(水) 秦荘地域

ギアの業者対応の状況について、しっかりとした人員体制での対応を求めた。

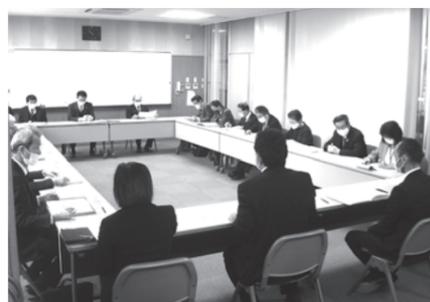
生涯学習課では、コミュニティスクール(学校運営協議会)についての質疑があり、共に子どもたちを育てる役割を担うとの回答があった。

コロナ禍における公民館活動の執行状況については、貸館業務は、影響が少ないが公民館運営の方針が出ていないとの指摘があった。

幼稚園・学校に教育委員合同で出向き、授業・施設の確認と、共に園長・学校長との意見交換を行った。

学校教育目標を各学校ごとに掲げ、子ども達に生きる力をつける・子ども達の将来性を広げることが目標に取り組まれている。

校内では、ソーシャルディスタンスを保ちながら、マス



学校訪問

クの着用、換気を行っている各教室で、子どもたちが勉強に集中している印象を持った。

一方で、学力の向上、ゲーム等による生活の乱れ、不登校や家庭学習の充実等多くの課題を抱えているが、このことは学校・園だけでなく、日常生活・社会生活において家庭や地域にも責任があり、お互いに共通認識を持って、子ども達に向き合うことが大切である。

教育が町の将来に影響することや、一人ひとりの子どもたちの学力の向上と豊かな心の育成をめざし、取り組むことが必要であることを認識して、議会としても対応していくことを確認した。